

⑥1三陸沿岸道路 吉浜道路

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所

<評価>

吉浜道路は、東日本大震災からの早期復興リーディングプロジェクトとなる復興道路に位置づけられた三陸沿岸道路の一部である。復興を実感してもらえ、被災地域の方々の心に残るプロジェクトであるよう、多彩な情報発信や地域参画の工夫が評価された。

はじめに

三陸沿岸道路は復興道路に位置づけられ、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして整備が進められているところである。

「吉浜道路」は、その三陸沿岸道路の一部となる延長3.6kmの路線（三陸IC～吉浜IC）であり、大船渡市をはじめ地域の盛大な歓迎と歓喜のもと平成27年11月29日（日）に開通した。

事業の概要・成果

吉浜道路は、大規模震災時でも寸断されない、強く信頼性の高い道路ネットワークとして機能する他、国道45号で最大の難所ともいわれる羅生峠越えの所要時間が10分から4分へと短縮され、急カーブや急勾配区間を回避することで重大事故の削減や救急医療支援に寄与するものである。

また、吉浜道路事業では、被災地での地域交流に力を入れ「心に残る道路事業」を目指してきたところである。施工者の地域行事への積極的参加、地元中学校のブログから工事の進捗情報発信等、明るい話題づくりやさまざまなCSR活動を熱心に取り組んでいただいた結果、多くのみなさまと開通を喜ぶことができた。



開通パレードの様子

おわりに

水産業が盛んなこの地域では、三陸ワカメ、キッピンアワビ等の海産物が全国ブランドとして有名である。大船渡魚市場の再開、新たなショッピングセンターの開業など、港町に嬉しいニュースが相次いでいる。

さらなる嬉しいニュースを地域の方々と分かち合うべく、三陸沿岸道路の全線開通のため事業促進を図っていく。

賛助会員 青木あすなる建設(株)東北支店、(株)安部日鋼工業東北支店、川田建設(株)、(株)建設技術研究所東北支社、清水建設(株) 東北支店、大成ロテック(株)、大日本コンサルタント(株)東北支店

⑥2一般県道石巻女川インター線整備事業

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 宮城県 土木部 道路課、宮城県 東部土木事務所

<評価>

石巻女川IC線は、新設された石巻女川ICと国道45号を結ぶ道路である。石巻女川ICは、三陸縦貫自動車道の一部を形成し、三陸沿岸地域の経済、産業及び文化連携を図るとともに、災害時における避難、物資輸送等の確保などを目的とした矢本石巻道路のインターチェンジである。開通により、被災地である石巻圏域の通勤環境が改善され、石巻赤十字病院へ直接アクセスできる点などが評価された。

はじめに

三陸沿岸道路は、宮城、岩手、青森の各県の太平洋沿岸を結ぶ延長359kmの自動車専用道路で、東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトに位置づけられた復興道路である。このうち矢本石巻道路は、三陸沿岸地域の経済、産業等の広域的連携を図るとともに、災害時における避難、物資輸送を確保する目的で整備が進められている。

本道路へ新たに設けられた「石巻女川IC」と既存の国道45号とを結ぶ路線が「一般県道石巻女川IC線」であり、建設中の国道398号石巻バイパスと接続し、石巻市街の混雑緩和や女川町への交通アクセスの向上等が期待される。

事業の概要・成果

本事業は、IC新設（石巻女川IC）及び新設ICと国道45号を直結する新県道（石巻女川IC線）の整備を目的とし、平成24年度から整備を進めてきた。このうち県道は延長343m、幅員26mの片側2車線の道路で、IC完成と同日の平成27年10月4日に供用が開始された。



開通式典の様子（平成27年10月4日）

本事業の完成によって、県道に隣接する石巻圏域の中核病院、災害拠点病院である「石巻赤十字病院」へのアクセス性が飛躍的に向上したほか、隣接ICに集中していた利用者の分散化が図られ、周辺の主要交差点で発生していた著しい交通混雑が大幅に緩和された。

また、東日本大震災で大きな被害を受けた沿岸部の女川町へ、国道398号石巻バイパス（建設中、一部供用済）を介して直接結ばれることとなり、女川町の復興を強力に支援する原動力となることが期待される。

おわりに

本事業の建設にあたり、用地買収に協力いただいた関係地権者のみなさま方、日夜工事に尽力された工事関係者のみなさま方にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

賛助会員 岩田地崎建設(株)、世紀東急工業(株)、大日本コンサルタント(株)、大日本土木(株)、(株)東京建設コンサルタント、パンフィックコンサルタンツ(株)、(株)福山コンサルタント、(株)復建技術コンサルタント